

# 南十字星

発行者  
クイーンズランド  
補習授業校  
校長  
丸山吉信

## 新入生の言葉

新入生代表 中学部一年

佐藤 マヤ

本日、幼稚部二〇名、小学部三二名、  
中学部一二名の新入生の皆さんはブ  
リスベン補習校に無事入学するこ  
とができました。

私は幼稚部の途中から補習校に通い  
始めました。日本から来たばかりで、  
英語もあまりしゃべることができま  
せんでしたが、補習校はとても楽しい  
と思えました。なぜなら、日本の学校  
のように日本語で授業を受け、友達と  
遊び、先生と楽しく学ぶことができた  
からです。だんだんと友達も増えて、  
毎週補習校に来るのがとても楽し  
みになりました。

一年生になると、宿題が多くなり、  
大変になり始めました。「宿題が出る  
とはこういうことなんだな」とよく思  
いました。ドラえもんの主人公「のび  
太」が宿題を嫌がるのはこういうこと  
なんだと思ったこともありました。現  
地校とは違い、週に一度ということが

私にとって補習校をまた特別なもの  
にしてくれました。週に一度しか会え  
ないのに、たくさんさんの友達ができて、  
みんなとも仲良くできる事はすばら  
しい事だと思えます。

ここで、私の好きな詩を紹介したい  
と思います。谷川俊太郎さんの「生き  
る」です。

生きる 谷川俊太郎

生きているということ

いま生きているということ

それはのどがかわくということ

木もれ陽がまぶしいということ

ふつと或るメロディを思い出すこと

くしゃみすること

あなたと手をつなぐこと

生きているということ

いま生きていること

それはミニスカート

それはプラネタリウム

それはヨハン・シュトラウス

それはピカソ

それはアルプス

すべての美しいものに出会うという

こと

そして

かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ

いま生きているということ

いま遠くで犬がほえるということ

いま地球がまわっていること

いまどこかで産声があがるとい  
うこと

いまどこかで兵士が傷つくこと

いまぶらんこがゆれているとい  
うこと

いま、いまが過ぎてゆくこと

生きているということ

いま生きているということ

鳥ははばたくということ

海はとどろくということ

かたつむりははうということ

人は愛するということ

あなたの手のぬくみ

いのちということ

私がこの詩を好きな理由は、生きる  
ことをいろいろな形で表しているか  
らです。例えば生きているからこそミ  
ニスカートがはけて、生きているから  
こそのは乾くのです。このように、

人間は意味があるから生きるのでは  
なく、生きることに意味があるとい  
うことを感じさせてくれる詩だと思  
います。皆さんもぜひ読んでみてくだ  
さい。

これで最後になりましたが、本日、  
このような立派な入学式を行って  
くださった先生方、保護者会の方々、お  
忙しい中、お祝いに駆けつけて下さ  
った来賓の方々、感謝の気持ちを表し、  
新入生代表誓いの言葉といたします。



## 理科学習レポート

学年が変わってしまいました。昨  
年度第四回目、二月十四日に実施した  
理科学習の報告をしております。で  
したので、以下に掲載します。

生活科 一年

「あたらしいせいがかつ 上」教科書

四二ページから四四ページ  
単元 「みずであそぼう」

一組と二組合同で、石鹼と食器洗い洗剤を使ってシャボン玉遊びをしました。子供たちは石鹼と食器洗い洗剤のどちらかを選びました。石鹼を選んだ子供たちは、どうしたら石鹼をはやく溶かせるかを考えました。子供たちは、すぐにストローで水と石鹼をかき混ぜていました。どうしたら割れないシャボン玉が作れるか、大きなシャボン玉が作れるか考えながら楽しみました。

生活科 二年

「どきどき わくわく まちたんけん」と「もつと なかよし まちたんけん」の単元をしました。残念ながら補習校では実地に町探検に行けないので、架空の町の地図を作りました。テーマは「こんな町にすみたいな」です。教科書三〇〜三一ページ、六八ページの地図を参考にしました。自分の家や友達の家他に、公園や学校、色々な店などを書き込みました。

ペットショップ、ピザ店、遊園地、温泉、モノレール等々、子供達の想像力に感心しました。本当にこんな町があったらいいなと思いました。

理科 三年

一二六ページを参考に、磁石を使っておもちゃを作りました。はじめに迷路を紙に書き、それを箱にはりました。そして厚紙に人や動物を書き、その下に磁石をつけました。箱の下から別の磁石を近づけ、人や動物を動かして迷路で遊びました。全四回の授業で、磁石の単元を終えました。子供達は実験を通して、磁石の性質や働きを学びました。

理科 四年

四年生では、実験装置を使い「電池のはたらき」について学習しました。

豆電球を単三の乾電池のプラスとマイナスにつなぎ点灯させ、導線を逆につなげても点灯することを確認しました。次は、モーターと乾電池をつなぎスイッチもつなげて回路を作りました。モーターには風車をつけ、最初は乾電池が一個で風車をまわしました。その次には、乾電池を二個使い、まずは直列つなぎ、その後並列つなぎで回路を作り、風車をまわしてみました。結果は、直列つなぎでは乾電池一個の時と変わらない速さで風車がまわりました。記号での回路の表し方をホワイトボードで説明し、簡易検流計があれば、電流の大きさが計れ、電流

の大きさの単位がアンペアであることを知りました。光電池と発光ダイオードについても、時間がなく実験は出来ませんでした。その特徴について学習しました。

理科 五年

教科書 二六〜三五ページを学習し、ほとんどの子どもが、マメ(種子)の発芽で大成功しました。「マメ(種子)の中に、発芽するために必要な養分がふくまれているのだろうか」「植物の成長には何が必要なのだろうか」という点について学習しました。

まず、水に浸して柔らかくしたマメ(種子)を切った中の様子を観察し、根、くき、葉になるところと、子葉と呼ばれるところがあることを確認しました。ヨウ素液をつけて色が変化するのは、子葉の部分です。ご飯と同じ「でんぷん」という養分が、ヨウ素液の色を変化させます。数人の子どもは、発芽したマメ(種子)を土に植えましたが、くきや葉の育ち方に違いがありました。どうしてだったのか、いっしょに考えました。日光のあたるところに置いていても、肥料を与えなければ、葉の数が少なく、くきは短いままで。また、肥料を与えても、日光の当たらないところに置いておくと、くきは伸

びますが、葉の緑色がうすく、小さく、数も少ないです。日光に当て、肥料を与えた植物が、じょうぶに大きく育つことを、教科書の実験結果(写真と育ち方の様子)から確かめました。もちろん、発芽に必要な「水、空気、温度」も関係しています。

ハーブや野菜、果物を育てているご家庭もあるようです。今回の学習を通して、植物を育てることに興味を持ち、参考にしてもらえるとうれしいです。

## お願い

インドロピリー高校との校舎借用契約書には、自分のゴミは自分で持ち帰るよう記載されています。お弁当を食べた後のゴミはゴミ箱に入れないで、持ち帰りをお願いします。

また、教室を退出の際は、床のゴミ拾いをしてから帰るようお話し下さい。

## 今後の予定

五月二三日 補講、下校二時十五分

JCB総会九時一五分

五月三〇日 避難訓練

一校時、授業参観

第一回運営委員会

六月六日 理社学習日、下校二時半